

障害者の生涯学習支援にかかるオーダーメイド型社会教育主事派遣事業 仙北市中央公民館 7 月事業「夏の防災体験教室」実施レポート

日 時：令和 6 年 7 月 13 日（土）午前 9 時 30 分～午後 0 時 10 分

会 場：仙北市西木総合開発センター 集会室・北側駐車場

参加者：100 名 一般 70 名・関係者（消防署、消防団、地婦連、市職員等） 30 名

1 回目の「春のスポーツ体験教室」に引き続き、仙北市中央公民館の主催、大曲支援学校せんぼく校「せんぼく桜スクール」との共催による「夏の防災体験教室」が開催された。角館消防署西木分署、消防団、地域婦人団体連絡協議会との連携や市内建設業組合の参加など、連携・協力が進んだことにより、参加者も昨年度の 2 倍以上となった。事業の認知度の高まりとともに、地域と障害者が共に活動するという理想に近づいてきていることを感じた。

【防災講座】

日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科の及川真一氏による「過去の災害から学ぶ新しい防災のススメ」をテーマとした講話があった。避難所の様子や支援の実態についての具体を知ること、参加者は自助の重要性を強く認識し、その後の様々な体験に意欲的に取り組む姿勢が見られた。

生涯学習センター職員は「役立つ防災スキルを体験しよう！」をテーマに、「新聞紙で防災」「役立つロープワーク」「百均で防災」の 3 つのブースを運営した。講座開始前からブースを開いていたこともあり、多くの参加者が興味を示し、楽しみながら取り組んでくれた。もっと時間があれば、という声も多く聞かれた。



「新聞紙で防災」



「役立つロープワーク」



「百均で防災」

【防災体験】

角館消防署西木分署・消防団により、煙体験ハウスによる避難、水消火器による模擬消火、消防服着用、消防車両等乗車の体験が行われた。参加者のペースでそれぞれを体験することができ、担当者に質問したり、体験後に意見交換をしたりする場面が見られた。



「消防服着用体験」



「煙体験ハウスによる避難体験」



「模擬消火体験」

【炊き出し実演】

仙北市が実際に備蓄している非常食を地域婦人団体連絡協議会の会員が調理して、参加者が試食した。備蓄するだけでなく、実際に食べてみることで、使ってみる大切さを体験を通して実感しているようであった。



「備蓄の様子」



「地婦連の協力による非常食の調理・炊き出しと試食」

